

一月十六日

朝八時リーガロイヤルホテル早稲田。学科ミーティング。十二時理事会プレゼンテーション。十五時三井ホーム講演。何と私とした事がハウスメーカーでレクチャーとはどうした事が。浮世の義理だ。十八時過世田谷村戻り。

一月十七日

朝世田谷村。十一時半大阪、北九州打ち合わせ大学。学生二件。十三時明治通りコンバージョン依頼者。十四時過製図採点。昨日私の留守中に亡くなった佐藤健の奥様が研究室に入室された。形見分けとして健さんのマフラーを置いていかれた。又、生前健さんが冗談のように言っていた、香典は「ひろしまハウス」建設資金へ。を真に受けて下さって、大変な額のお金を「ひろしまハウス」に寄付して下さい。有難うございました。しかしやっぱり驚いた。何といふべきか。健さんアリガトとしか言葉がない。プノンペン「ひろしまハウス」は私にとっても色んな記憶の貯蔵庫になるな。十九時TVプロダクション・ルーカス、メンバーと会食。いずれ近いうちに大学がTV放送局になる日がくるだろうという話が面白かった。そこらのオバちゃんやTV番組を作れる位に様々な道具が進歩しているという事だろうし、多チャンネル時代が来るという事でもある。TVの現場であるプロダクションでの制作費は小は三〇〇万円から、三〇〇〇万円、大は一億円く

らしいものらしい。大体、住宅一軒くらいと考えれば良いのかな。

一月十八日

朝地下ミーティング。十四時過横浜。ガウディとジュジョールを巡るシンポジウム。建築論の現在。どっちが主題なのか分りにくい。入江先生の司会で、石山、鈴木了二、内藤廣がパネリスト。池原義郎先生の基調講演が良かった。学会の建築論意匠小委員会を批判しただけが実質的成果と言えれば成果であった。

一月十九日

午前中は世田谷村でくつろぐ。アンコールワットへ宮脇愛子さんを御案内する件はそろそろ本腰を据えてスケジュールその他をつめたほうが良いな。健さんが亡くなって一週間の中のある一定の時間がポツカリ空白になった。これは将来もきつと埋められないだろう。

十三時過出掛ける。千疋屋でアイベリーを求めて田園都市線たまプラザで山田脩二と待ち合わせ、山口勝弘先生との打合せを兼ねたお見舞いへ。何とマア、こういう役割が多くなった。猛者の前衛と附合しているところなるんだな。十五時たまプラザの山口勝弘訪問。ハンディを負われてはいるが意気は高い。ドローイングその他を見せていただく。おまけにロシア・アヴァンギャルドのレクチャーまでされてしまった。頭脳は完全だな。シユブレマティズムの語源の話を聞きながら、そうか、ジョン・コルトレインのシユプリム、E・LOVEシユプリムの意味はそうだったのかと納得した。淡路島に山口勝弘構想の美術館は建てて差し上げたい。山勝工場のリノベーションの枠があるから充二分に可能であろう。お見舞後、溝ノ口で山田脩二と食事。

色々困難はあるだろうが、淡路環境芸術センターは山口勝弘構想を石山が建築化する事で進めたい。作っておいた放物線の土手も生かせるであろう。山口さんの淡路への先祖帰りに同行するのも面白いだろう。